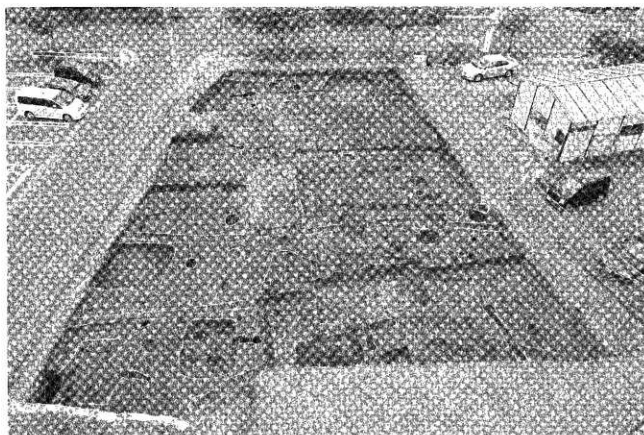


盛岡市遺跡の学び館

平成25年度 館 報



台太郎遺跡 第80次南側調査区全景

盛岡市遺跡の学び館

はじめに

東日本大震災から早4年が経過しました。当市では、被災後早くから職員の派遣を行い、文化財部門でも、平成24年度から宮古市と大船渡市での埋蔵文化財包蔵地の発掘調査のため、職員を派遣し、また宮城県を含めた市町村への調査協力なども積極的に進めてきました。

市内の調査事業におきましても、沿岸部から内陸へ移転された方々の店舗及び住宅建築を含め、開発行為の件数も増加し、民間開発のみならず公共事業に伴う埋蔵文化財調査の件数・面積も徐々に増加する傾向が見受けられました。

特に盛岡南部市開発整備事業（盛南開発）区域にも含まれていた台太郎遺跡では、4件の民間開発及び個人住宅建築に伴う調査が計画され、施主・施工の皆様のご理解と御協力により、奈良・平安時代の古代集落跡の発掘調査を実施することができ、数多くの成果を挙げることができました。

また学芸事業におきましては、今後も災害を風化させず、より防災意識を高め向上を図るため、過去の災害の歴史を知ることも必要と考え、「災害の歴史」をテーマに展示を企画し、内陸部の水害や火山災害を含め、古から先人たちがいかに災害に立ち向かい、乗り越えてきたか、その歴史を辿り、沿岸部からは、その当時の様子を伝える「海嘯碑」を中心に紹介し、その存在を内陸部の方々にも知っていただく機会を設けました。

関連事業では、史跡めぐりや体験学習など、多様な事業も実施してきましたが、市民の皆様の一層に十分お応えできたか顧みながら、今後も内容の充実に職員一同励んで参りたいと考えております。

今後とも関係各位のより一層の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年3月

盛岡市遺跡の学び館
館長 村上 寛

例 言

- 1 本書は、盛岡市遺跡の学び館の平成25年度館報である。
- 2 本書の編集執筆は、当館職員が協議して行った。
- 3 Ⅲ-4の埋蔵文化財発掘調査の記載内容は、平成24年度に当館が行った発掘調査の概略をまとめたもので、その多くは現在資料整理中であり、正報告書は別途刊行予定である。

発掘調査報告の記載についての例言は以下のとおりである。

- (1) 本文・図中での高さや標高値をそのまま使用している。
- (2) 遺構記号は塼穴建物跡：RA、建物跡：RB、柱列跡：RC、土坑：RD、竪穴：RE、焼土遺構：RF、溝跡：RG、配石・集石遺構：RH、古墳など：RXとした。
- (3) 本書に使用した地図は、「盛岡広域都市計画図1:10,000」、「盛岡市道路地図2008年版」ほかを縮小して使用。スケールは任意であるが、およそ1:15,000~1:20,000である。
- (4) 発掘調査にともなう記録や出土遺物は、当館で保管している。

目 次

はじめに

例言

目次

Ⅰ 施設概要

- 1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業…3
- 2 事業経過……………3
- 3 建設事業費等……………3
- 4 施設概要等……………3

Ⅱ 職員体制……………4

Ⅲ 事業概要

- 1 管理運営……………5
- 2 学芸事業……………6
- 3 東日本大震災関連支援事業……………12
- 4 埋蔵文化財発掘調査……………13

報告書抄

1 施設の概要

1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業

平成12年12月24日未明の「文化財調査室」の火災事故以後、防災に強い施設整備に向けて、平成13年5月より(仮称)盛岡市文化財センター建設構想に係る庁内外との協議(企画調整課・財政課・管財課・契約検査課・公園緑地課・建築営繕課・地域整備公園(当時))を開始し、総合計画との関連および予算措置・建設用地等についての協議をおこなった。各関係機関との協議を経て、同年7月に文化庁から埋蔵文化財センター建設事業(国庫補助)について、平成14年度の事業実施の方向性を打診。建設用地は市先人記念館・子ども科学館・県立美術館の立地する盛岡市中央公園地内を候補地とし、諸機関との調整の上、同年8月に事業開始となった。

2 事業経過

平成13年度	「(仮称)盛岡市文化財センター建築基本設計」策定、展示構想策定業務、地質調査
平成14年度	建築実施設計、展示施設計画、建築工事・土木工事
平成15年度	建築工事・土木工事 展示施設製作業務委託、盛岡市遺跡の学び館設置条例制定
平成16年度	盛岡市遺跡の学び館施行規則制定 施設の名称を「盛岡市遺跡の学び館」とする
平成16年3月1日	盛岡市遺跡の学び館開館
平成26年3月末	開館以来の施設総利用者数121,495人

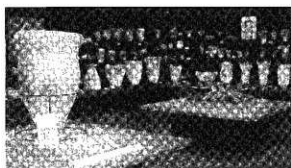
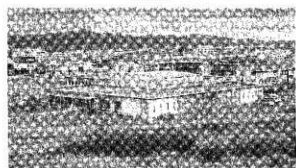
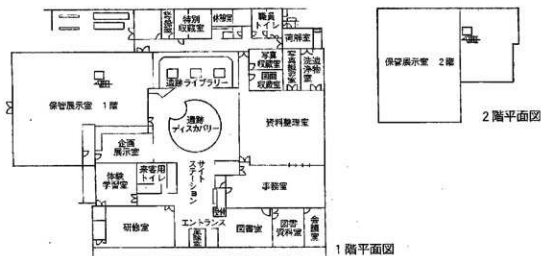
3 建設事業費等

・建設事業費 677,755千円(国庫補助210,000千円・県補助105,000千円)

総事業費	677,755 千円	建築設計	株式会社三衛設計舎
建築設計委託	24,675	展示施設構想策定・製作	株式会社丹青社
建築工事費	455,490	建築主体工事	株式会社阿部正工務店
土木工事費	43,543	敷地造成工事	有限会社東北農林建設
展示計画策定業務委託	8,820	電気設備工事	新興電機株式会社
展示施設製作業務委託	91,308	給排水設備工事	有限会社門坂工業
備品購入費	44,700	機械設備工事	中央水道土木株式会社
その他	9,219	地質調査業務委託	旭ボーリング株式会社
		敷地植栽工事	株式会社やまいわ
		簡易リフト設置工事	三機商事株式会社

4 施設概要等

施設の名称と位置	名称	盛岡市遺跡の学び館		設置	平成16年3月31日
	住所	岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1		開館	平成16年6月1日
施設の概要	構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造平屋(一部重層)			
	敷地面積	5,788.8㎡	建築面積	2,639.9㎡	延床面積
室名と面積	展示部門	常設展示室(450.8㎡)、企画展示室(81.4㎡)、展示器材室			
	教育普及部門	研修室(117.0㎡)、図書資料室(47.7㎡)、図書室(66.3㎡)、体験学習室(70.9㎡)、研修機材室、学習器材室等			
	収蔵部門	保管展示室(897.3㎡・1階617.8㎡・2階379.5㎡)、特別収蔵室(46.5㎡)			
	調査整理部門	写真収蔵室(27.2㎡)、図画収蔵室(27.2㎡)			
	管理部門	資料整理室(237.2㎡)、運物洗浄室(37.1㎡)、写真撮影室(28.8㎡)、保存処理室(14.7㎡)			
	管理部門	会議室(30.8㎡)、事務室(157.7㎡)、荷解室(24.5㎡)、休憩室(12.7㎡)			



第1図 館内平面図及び外観・展示室写真

【収蔵資料】(平成25年度末現在)

資料区分	細区分	内 容	点 数
考古資料	1124年度発掘調査分	・有太郎遺跡・大宮北遺跡・細谷地遺跡・新茶屋遺跡 ・甲解遺跡・町田遺跡	小コンテナ48箱
	今調査まで資料(展示資料含む)の破片等コンテナ収納資料	・土器・土製品・石器・石製品・陶磁器・銅・古銭・金属器 ・木製品・瓦・装身具・小判・硬石等	約5,400点
	寄贈寄託	・プラスチックコンテナ収納(土器・石器破片、自然遺物含む) ※コンテナ503×700×397mm、小コンテナ387×586×142mm	大 300箱 小15,781箱
	個人コレクション	・奥健夫氏ほか寄贈考古資料 ・本松祥塚・安倍館遺跡出土遺物ほか	1,740点 2点
標本等	模写・レプリカ	・模写・レプリカ・土壌サンプル等	
調査記録資料	図 画	・図画(原図・第2版図・遺物実測図等)	約4,000枚
	写 真	・写真(モノクロ・カラーネガ:35mm、6×7、4×5) ・カラースライド(35mm、6×7) ・デジタル画像(700MB:CD・DVD)	約130,000コマ 約41,000コマ 約400枚

II 職員体制

館 長(兼) 袖 上 寛

館長補佐(兼) 千 田 和 文

[管理・学芸班]		[調査班]	
(主査1 主任1 非常勤3)		(主査3 主任2 非常勤2)	
主査(兼)	出 山 淳 一	文化財主査(兼)	室 野 秀 文
主任(兼)	江 本 敦 史	文化財主査(兼)	菊 地 幸 裕
文化財調査員(非常勤)	木 幡 里 美	文化財主査(兼)	津 嶋 知 弘
学芸調査員(非常勤)	山 岸 住 澄	文化財主任(兼)	神 原 謙 一 郎
学芸調査員(非常勤)	山 野 友 海	文化財主任(兼)	花 井 正 香
		文化財調査員(非常勤)	佐々木 紀 子
		文化財調査員(非常勤)	鈴 木 俊 輝

Ⅲ 事業概要

1 管理運営

・盛岡市遺跡ネットワーク整備委員会

盛岡市における中核史跡や重要遺跡の保存活用と遺跡整備の基本的方向を定めることを目的として平成12年に設置。遺跡の学び館の開館を機に、当館の企画運営についての指導もいただいている。

○第1回【期 日】平成25年7月17日（水）【時間】13:30～15:00【会場】当館 研修室

【出席者】熊谷常正委員長、金野万里・熊谷哲也・佐藤由紀男・瀬川君雄・藤村幸雄委員
事務局 鷹狩教育部長、歴史文化課及び当館職員

【議 事】審議・平成25年度遺跡の学び館事業について、
報告・平成25年度被災市町村への職員派遣等について

○第2回【期 日】平成26年2月13日（木）【時間】13:30～15:00【会場】当館 研修室

【出席者】熊谷常正委員長、金野万里・熊谷哲也・佐藤由紀男・
瀬川君雄・藤村幸雄委員
事務局 鷹狩教育部長、歴史文化課及び当館職員

【議 事】報告

- ・平成25年度遺跡の学び館事業報告について
- ・平成25年度の国指定史跡の調査と整備状況について



【年間事業費】（平成25年度決算額）

事業名	事業費（決算額）	事業内容
資源運営事業	14,400,418円	・臨時職員賃金、施設設備の維持管理経費等
学芸事業	3,163,231円 (うち国補助1,288千円)	・テーマ展、企画展、調査資料展、体験学習会、普及資料の作成、収蔵資料データベース管理等
盛岡遺跡群発掘調査事業	3,856,965円 (うち国補助1,836千円、県補助456千円)	・個人住宅地帯に係る事前の発掘調査及び資料整理
歴史文化財調査事業	2,447,408円	・公共事業に伴う事前発掘調査
盛岡開発地区歴史文化財発掘調査活用事業	20,467,500円 (まちづくり交付金8,059,000円、 起債10,600,000円、市費1,808,500円)	・都市開発事業に係る発掘調査及び活用事業
歴史文化財発掘調査事業	594,843円	・ゆいとびあミュージアムネットワーク
計	44,930,369円	・個人住宅建築及び宅地造成等、民間開発に係る試掘確認調査

【入館者統計】（開館以降の入館者等利用状況（平成16年6月～平成26年3月）

(単位：人)

	有料入館者						減免利用者			展示室 利用者数	展示室 以外の 利用者数	総計	
	個人			団体			計	一般	小・中				計
	一般	小・中	小計	一般	小・中	小計							
H16	2,837	923	3,760	792	422	1,214	4,974	5,316	610	5,926	10,900	1,896	12,796
H17	2,298	1,475	3,773	582	372	954	4,727	2,064	597	2,661	7,388	2,800	10,188
H18	2,024	1,557	3,581	259	798	1,057	4,638	1,575	1,098	2,673	7,311	5,244	12,555
H19	1,932	1,710	3,642	413	851	1,264	4,906	1,660	1,102	2,762	7,668	5,290	12,958
H20	2,157	2,218	4,375	473	804	1,277	5,652	1,859	982	2,841	8,493	6,263	14,756
H21	2,144	2,158	4,302	375	525	900	5,202	1,284	568	1,852	7,054	5,450	12,504
H22	2,012	1,594	3,606	228	268	496	4,102	1,114	411	1,525	5,627	3,624	9,251
H23	1,753	1,644	3,397	709	1,874	2,583	5,980	1,007	690	1,697	7,677	5,156	12,833
H24	2,347	1,471	3,818	427	1,218	1,645	5,463	2,031	610	2,641	8,104	4,969	13,063
H25	1,942	1,640	3,582	630	340	970	4,552	1,641	521	2,162	6,714	3,877	10,591
計	21,446	16,390	37,836	4,888	7,472	12,360	50,196	19,551	7,189	26,740	76,936	44,559	121,495

2 学芸事業

当館主催の学芸事業として、企画展示室においてテーマ展・企画展、平成25年度調査資料展を開催したほか、市民参加による体験学習会を年間を通じて全9回開催し、またゴールアンウィーク・夏休み・冬休み期間中には個人を対象とした体験学習会などを開催した。また発掘調査現地での説明会の実施、普及資料の発行、さらに出前講座、博物館実習をはじめ、各種実習・研修・行政視察等の受入を行った。

(1) 展示公開・普及活動

【展示会】

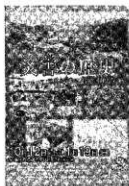
タイトル等	テーマ展 「伏魔（ふせがめ）～4,500年間立ち上る土器～」	会場	当館企画展示室
開催期間	平成25年6月1日（土）～平成25年9月29日（日）	来場者数	3,051名
展示構成	「盛岡から出土した伏魔 □なぜ伏魔は埋められたのか □世界の事例と古典の中の埋魔」	展示資料数	130点
概要	盛岡には縄文時代の遺跡が多く、6割にのぼる。その中で特徴的な遺物に「伏魔・埋魔」と呼ばれる土器があり、それは縄文時代中期中葉に流行し、底部に穴を開け、住居内に逆さまに埋められている。今回のテーマ展では盛岡市内出土の伏魔とその時代の特徴的な遺物と、伏魔風習に係る研究諸説も併せて紹介し、地域の縄文文化への理解を深めることを目的とした。		
作成資料	ポスター・チラシ・展示解説シート及び展示資料一覧		
タイトル等	第12回企画展 「災害の歴史～遺跡に残されたその爪跡～」	会場	当館企画展示室
開催期間	平成25年10月12日（土）～平成26年1月19日（日）	来場者数	1,313名
展示構成	〔第一部〕Ⅰ東日本大震災と遺跡、Ⅱ火山噴火と遺跡、Ⅲ古代城構「志波城」と災害、Ⅳ盛岡城普請と災害、Ⅴ城下町盛岡と災害〔第二部〕Ⅵ三陸の遺跡と災害、Ⅶ災禍のしづみ	展示資料数	183点
概要	東日本大震災から2年以上経過し、今後も災害を風化させず、より防災意識を高めその向上を図るため、過去の災害の歴史を知ることも必要と考え、今回は『災害の歴史』と題し、第一部 盛岡の災害と第二部「三陸の貝塚と海嘯碑」の二部構成で企画した。古から先人たちがいかに災害と立ち向かい、乗り越えてきたか、その歴史を辿り、沿岸部の津波災害については、その当時の様子を伝える「海嘯碑」を中心に紹介し、その存在を内陸部の方々にも知っていただく機会とするために企画した。		
作成資料	展示図録・ポスター・チラシ・展示解説シート及び展示資料一覧		
タイトル等	第31回埋蔵文化財調査資料展 「盛岡を発掘する～平成25年度調査速報～」	会場	当館企画展示室
開催期間	平成26年2月11日（火）～平成26年5月18日（日）	来場者数	3,089名
展示遺跡	史跡志波城跡、史跡盛岡城跡、新茶屋遺跡、里館遺跡、白太郎遺跡、大宮北遺跡、細谷地遺跡、町田遺跡、（特別出品）大船渡市田代遺跡、小出館遺跡	展示資料数	216点
概要	平成25年度に市内で発掘された遺跡の調査概要について、出土遺物・写真・解説パネル等で展示公開。併せて当市からの派遣職員が担当した大船渡市田代遺跡・小出館遺跡の調査資料の一部を展示。		
作成資料	展示パンフレット・ポスター・チラシ・展示資料一覧		

【講演会】（企画展関連事業）

開催日	タイトル・講師	聴講者
平成25年11月21日（日） 13:30～15:30	講演会「火山噴火と地盤 - 岩手山と三陸沖地震 -」 岩手大学教育学部教授 土井 直夫 氏	48名



テーマ展チラシ



企画展チラシ



資料展チラシ

【学芸講座】（企画展開関連事業）

開催日	タイトル・講師	聴講者
平成25年10月27日(日) 13:30~15:00	学芸講座Ⅰ「災害と遺跡 -縄文時代の貝塚を中心に-」 宮古市教育委員会 高橋 憲太郎 氏	18名
平成25年11月10日(日) 13:30~15:00	学芸講座Ⅱ「災害と遺跡 -盛岡周辺の古代の遺跡を中心に-」 当館 津崎 知弘 文化財主査	20名
平成25年12月1日(日) 13:30~15:00	学芸講座Ⅲ「災禍のいしぶみ -供養塔と海嘯碑-」 当館 千田 和文 館長補佐	26名

(2) 参加型体験活動

【学芸講座】（企画展開関連事業）

開催日	タイトル・講師	聴講者
平成25年6月9日(日) 13:30~15:30	「考古学者になってみよう！遺跡発掘体験」 対応：当館職員・サポーターズクラブ	32名
平成25年6月23日(日) 9:00~13:00	「もりおか史跡・遺跡めぐり -盛南地区-」 対応：当館職員・サポーターズクラブ	15名
平成25年7月7日(日) 13:30~16:30	「縄文土器をつくろう！」(親子) 対応：当館職員・サポーターズクラブ	29名
平成25年7月21日(日) 9:30~11:30	「縄文土器を野焼きしよう！」(親子) 対応：当館職員・サポーターズクラブ	16名
平成25年9月1日(日) 9月15日(H) 9:30~12:00	「やきもの教室」(制作と釉薬掛け 2回) 講師：松山 昭夫 氏 補助：当館職員・サポーターズクラブ	12名
平成25年10月20日(日) 9:30~12:00	「染めもの体験」(親子) 対応：当館職員・サポーターズクラブ	13名
平成25年12月15日(H) 9:30~12:00	「つるで小物をつくろう！」 対応：当館職員・サポーターズクラブ	17名
平成26年2月23日(日) 13:30~17:00	「カゴ作り教室」 講師 中市日女子 氏 補助：サポーターズクラブ	23名



ゴールデンウィーク！古代体験ひろば



もりおか史跡・遺跡めぐり



縄文土器を野焼きしよう！

【体験学習会】

筐事のタイトル	開催期間	体験学習のメニュー	参加者
ゴールデンウィーク！ 古代体験ひろば	平成25年4月27日(土)~ 5月6日(月)9日間	午前の部 10:00~11:30 午後の部 13:00~14:30	勾玉作り67名、土玉彩色57名、古代風ストラップ89名、火おこし362名、まなびのひろば17名 (のべ592名)
夏休み！ 古代体験ひろば	平成25年7月27日(土)~ 8月11日(H)13日間	メニュー：勾玉作り・土玉彩色・古代風ストラップ(有料)、火おこし・まなびの広場(無料)	勾玉作り112名、土玉彩色99名、古代風ストラップ117名、壺染め体験5名、琥珀勾玉作り27名、火おこし520名、まなびのひろば13名 (のべ893名)
冬休み！ 古代体験ひろば	平成26年1月5日(土)~ 1月13日(H)9日間		勾玉作り34名、土玉彩色34名、古代風ストラップ57名、火おこし167名、まなびのひろば14名 (のべ306名)

(3) ボランティア活動や地域連携活動

【遺跡の学び館サポーターズクラブ】

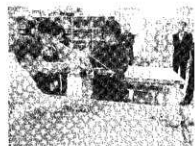
当館の体験学習など行事運営を支援・協力するボランティア団体の「サポーターズクラブ」が発足して8年目を迎えた。本年度の会員数は13名で、当館行事の春・夏・冬の「古代体験ひろば」（個人の体験学習）をはじめ、史跡めぐり・やきもの教室・野焼き・染めものをはじめ各種の体験教室、館外の大規模 SC でのもりとびあねっと PR 活動なども含め、精力的に活動に参加され、支援していただいた。

また自主活動として上器作りの技術向上のための勉強会や会員の親睦・史跡見学を兼ねた研修旅行（研修先：秋田県小坂町・鹿角市：康楽館・鉱山事務所、小坂町立総合博物館郷土館、大湯ストーンサークル館 期日：平成25年10月19日（日））を企画し、6名が参加された。

【盛岡ゆいとびあミュージアムネットワーク】

「もりおかゆいとびあミュージアムネットワーク」（略称もりとびあねっと）は盛岡市中央公園・本宮・太田地区の博物館・美術館 6 施設（岩手県立美術館・盛岡市原教記念館・盛岡市子ども科学館・盛岡市先人記念館・盛岡市遺跡の学び館・志波城古代公園）で構成されたネットワークで、平成19年度に設立。施設間及び地元本宮地域協議協議会「ゆいネット盛南」等との連携により、共同テーマによるイベント・展示会の開催を行い、利用者が美術・歴史・科学・先人（人物）などに対し、多角的に興味関心を持つ機会を提供し、利用促進を図った。

催事のタイトル	開催期間	体験学習のメニュー	参加者
ぐるり☆もりとびあ スタンプラリー	平成25年7月20日(土)～ 9月16日(月)	施設 PR として、スタンプラリー台紙を小学生児童に配布。7会場中、4カ所の押印で記念品贈呈。	7施設全体のスタンプ押印者数 3,052名 記念品交換者数 395名
もりとびあねっとまつり2013 勾玉ネックレスづくり	平成25年11月30日(土) 13:00～16:00	イオン盛岡南 SC を会場として、袱土に彩色して作った勾玉とビーズを組み合わせてネックレス作り。	参加99名
もりとびあねっとイベント 勾玉ネックレスづくりと盛南地区発掘調査パネル展	平成26年2月2日(日) 13:00～16:00	「もりとびあねっと」と館の PR の一環として勾玉とビーズを組み合わせてネックレス作り。(サポーターズクラブ支援)	ネックレスづくり参加者 121名 パネル展示見学者 90名



公開講座



博物館実習



サポーターズクラブ研修旅行

(4) 研修・実習活動

【体験学習会】

開催日	内 容	依頼団体(会場)	参加者
平成25年5月1日(水)	盛岡市教育委員会初任者研修	市教育委員会学校教育課 (遺跡の学び館)	10名
平成25年5月30日(木)	職場体験学習	秋田県鹿角市八幡平中学校 2年生(遺跡の学び館)	3名
平成25年 8月20日(火)～24日(土)	博物館実習(5日間)	宮城学院女子大学1名、岩手大学2名、 盛岡大学2名 (遺跡の学び館)	5名
平成25年11月23日(土)	いわて高等教育コンソーシアム「平泉から知るいわて～いわての復興を考える～」	岩手県立大学、岩手大学、盛岡大学ほか (遺跡の学び館)	40名
平成25年12月26日(木)	盛岡市教育研究所第2回公開講座「遺跡・文化財講座：身近にある文化財を知るための講座・見学・火おこし体験」	盛岡市教育研究所 (遺跡の学び館)	8名

(5) 出前講座・講師派遣活動

【出前講座】

開催日時	内 容	講 師	依頼団体(会場)	参加者
平成25年5月1日(水)	「平成25年度盛岡市教育委員会第1回初任者研修(一般研修)」	千田 和文 館長補佐	市教育委員会学校教育課	13名
平成25年7月6日(土)	「太田分館歴史講座第1回史跡・遺跡と関連文化財-歴史文化資源のほりおこし-」	千田 和文 館長補佐	盛岡市中央公民館太田分館	20名
平成25年8月7日(木)	「室達カレッジ 安倍氏の櫓の特徵とアテルイ後の陸奥の歴史について」	千田 和文 館長補佐	一関市立沢沢公民館	30名
平成25年8月30日(金)	【学びの循環推進事業】 「もりおかの遺跡-中世の滴石・繋・半石の中世遺跡-」	室野 秀文 文化財主査	もりおか老人大学繋分校	40名
平成25年9月27日(金)	「公益財団法人岩手県文化振興事業団理蔵文化財センター職員研修-中世城館調査の留意点-」	室野 秀文 文化財主査	岩手県立理蔵文化財センター会議室	50名
平成25年10月5日(土)	「太田分館歴史講座第3回史跡志波城について」	今野 公顕 文化財主査	盛岡市中央公民館太田分館	20名
平成25年10月18日(金)	盛岡の歴史を語る会「未来に伝える盛岡遺産」	花井 正香 文化財主任	岩手県公会堂	100名
平成25年10月26日(土)	「太田分館歴史講座第4回中世領主と館・街道・村落」	室野 秀文 文化財主査	盛岡市中央公民館太田分館	10名
平成26年1月16日(木)	【学びの循環推進事業】 「もりおかの遺跡-遺跡に見る災害の痕跡と城下の歴史-」	千田 和文 館長補佐	岩手県宅地建物取引業協会 盛岡支部	60名
平成26年2月21日(金)	【学びの循環推進事業】 「もりおかの遺跡-盛岡の古代の歴史について-」	室野 秀文 文化財主査	岩手県歴史研究会	20名

(6) 職員研修活動

【専門研修派遣】

期 間	内 容	派遣職員	主催(会場)
平成26年2月6日(水) ～8日(金)	平成25年度文化財等取扱講習会「応用コース」	山野友海学芸調査員、 木幡里美・鈴木俊輝文化財調査員	公益財団法人岩手県文化振興事業団岩手県立博物館
平成25年8月21日(水) 平成26年1月10日(金)	平成25年度第2回16ミリ映画機操作技術講習会	山野友海学芸調査員、 木幡里美文化財調査員	盛岡教育事務所管内教育振興協議会
平成26年2月26日(水) ～27日(木)	平成25年度博物館学芸員等研修会	山岸佳澄学芸調査員	学芸員ネットワーク・いわて(遺跡の学び館)
平成26年2月26日(水) ～27日(木)	平成25年度岩手県史跡整備市町村協議会文化財行政担当職員研修会	花井正香文化財主任	岩手県史跡整備市町村協議会(宮古市内、視察：近隣市町村の発掘調査現場)

【関連会議等出席】

期 間	内 容	派遣職員	主催・会場・視察先
平成25年5月30日(木) ～31日(金)	平成25年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会役員会・総会	千田 和文 館長補佐	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会(兵庫県神戸市)
平成25年7月25日(木) ～26日(金)	平成25年度日本博物館協会東北支部・東北地区博物館協会総会・研修会及び岩手県博物館等連絡協議会総会	袖上 寛 館 長	日本博物館協会東北支部・東北地区博物館協会・岩手県博物館等連絡協議会(二戸パークホテル・九戸城跡、二戸市埋文センターほか)
平成25年10月17日(木) ～18日(金)	平成25年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会北海道・東北ブロック会議	千田 和文 館長補佐	釧路市立埋蔵文化財調査センター

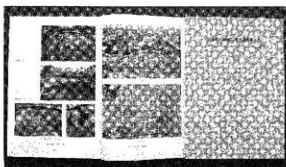
(7) 発掘調査成果の公開及び刊行活動

【現地説明会・公開と調査成果報告会】

開催日時	遺跡名(所在地)	見学者・参加者
平成25年5月27日(月) 10:30～16:00	台太郎遺跡第77次発掘調査現地公開(向中野2丁目地内)	142名
平成25年9月26日(木) 10:00～12:00	台太郎遺跡第80次発掘調査報道関係現地公開(向中野2丁目地内)	1社
平成25年10月23日(水) 14:30～15:30	台太郎遺跡第80次発掘調査見学会(向中野2丁目地内)	22名
平成25年11月26日(火) 11:00～15:00	新茶屋遺跡第5次発掘調査現地公開(山岸6丁目地内)	50名
平成26年3月2日(日) 13:30～15:30	第31回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘する-平成25年度調査速報-」関連事業「平成25年度調査成果報告会」	63名

〔埋蔵文化財調査報告書の刊行〕

作 名	発行日	部数	販売の有無
「盛岡地区遺跡群発掘調査報告書Ⅴ－盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡(平成13～18年度発掘調査②)－」	平成26年1月31日	300部	公的機関に配布
「盛岡地区遺跡群発掘調査報告書Ⅵ－盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡(平成13～18年度発掘調査③)－」	平成26年3月14日	300部	
「盛岡市遺跡の学び館 平成24年度館報」	平成26年3月31日	350部	



盛岡地区遺跡群発掘調査報告書Ⅴ及びⅥ



平成24年度版 館報

〔展示会関連刊行物〕

作 名	発行日	部数	販売価格等
【展示図録】 第12回企画展「災害の歴史－遺跡に残されたその爪跡－」	平成25年10月12日	200部	800円

(8) 図書整備活動

〔寄贈図書及び購入図書〕

形態	分野	内 容	寄贈・購入冊数		計
			平成24年度末	平成25年度増加分	
発掘調査報告書			15,663	660	16,323
一般図書	考古学	概説書など	232	6	238
	歴史学	日本史・郷土史など	173	2	175
	民俗学	民具・民俗芸能など	10	0	10
	美術工芸	絵画・彫刻・建造物など	30	1	31
	自然科学	動植物など	5	0	5
	文化財保護	一般文化財・保存計画・保存処理・復元など	19	1	20
	博物館学	博物館概論・開館記念誌など	3	0	3
	その他	辞典・事典など	36	4	40
	資料集	図録・解説書・パンフ・レジユメなど	1,639	143	1,782
全集	3冊以上	465	3	468	
論集	論文集など	42	10	52	
通史	市町村史	258	4	262	
逐次刊行物	雑誌・年報・館報・紀要・研究報告など	3,917	195	4,112	
計			22,492	1,029	23,521

全国各地の公立及び公益法人の埋蔵文化財センター・博物館施設等と遺跡発掘調査報告書や遺跡関係書籍および展示図録・歴史関連書籍や論文集、一般刊行物、各種パンフレットなどを主体に図書の交換を行い、保管収集に努めている。これらの蔵書は図書室の開架棚で米館者が自由に閲覧できるものと、図書資料室に収蔵のうえ、受付に申し出て閲覧できる図書に区分している。

3 東日本大震災関連支援事業

[現地派遣及び現地指導による支援活動]

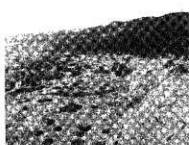
	所 属	派遣先	職務内容	人数	派遣期間(依頼)
1	上田公民館	宮古市	埋蔵文化財発掘調査(赤前IV遺跡ほか)	1	平成25年4月1日～平成26年3月31日
2	遺跡の学び館	大船渡市	防災集団移転促進事業に係る埋蔵文化財発掘調査(小出館遺跡・田代遺跡ほか)	1	平成24年10月1日～平成26年3月31日
3	遺跡の学び館	陸前高田市(岩手県埋蔵文化財センター)	土地造成事業等に係る城館調査指導(花館跡、上長部館跡等)	1	平成25年6月25日
4	遺跡の学び館	宮城県本吉郡南三陸町	津波拠点整備事業に係る城館調査指導(新井山館跡)	1	平成25年7月8日

○東日本大震災に係る被災市町村への職員派遣については、平成23年3月11日以降、沿岸部の要望により継続的に実施してきたところであるが、平成25年度も岩手県市長会を通じ、派遣依頼の要請があり、当市は「東日本大震災に係る盛岡市復興推進の取組方針」に基づき、沿岸8市町村に19名の職員を派遣し、文化財担当としては市教育委員会生涯学習課主管の上田公民館から宮古市教育委員会へ1名、歴史文化課主管の遺跡の学び館から大船渡市教育委員会へ1名(両名とも派遣期間は平成25年4月1日～平成26年3月31日)を派遣した。

○当館からの職員は、平成24年10月1日から延長派遣で、大船渡市内での防災集団移転等に係る発掘調査を担当し、越前地区の「小出館遺跡」「田代遺跡」等の発掘調査や室内作業(図面整理・遺物整理)及び開発事前調整等の職務に従事した(平成26年度以降も継続派遣の予定)。また、当館で開催した第31回埋蔵文化財調査資料展で、特別展示として大船渡市教育委員会の協力により、派遣の職員が担当した遺跡の出土遺物・写真パネル等の公開も併せて実施した。



越前米湾風景



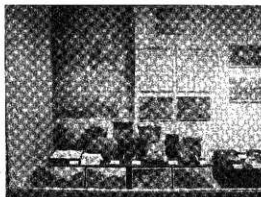
小出館遺跡調査状況



田代遺跡調査状況



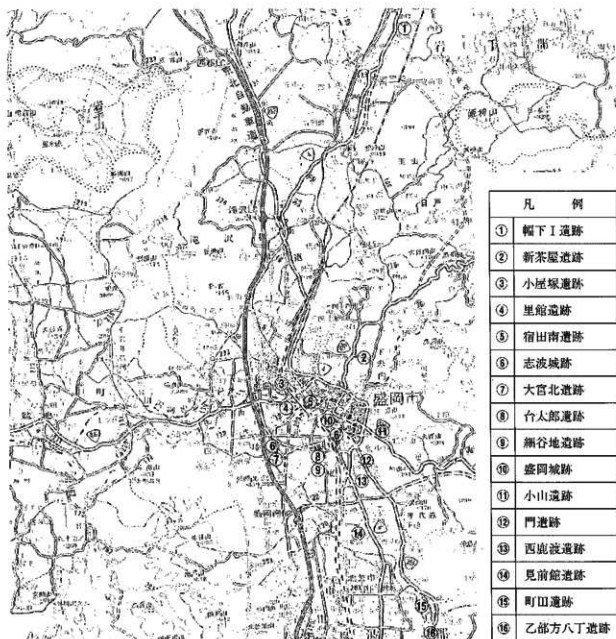
第31回埋蔵文化財調査資料展



同左 特別出品 大船渡市田代遺跡・小出館遺跡調査成果

4 埋蔵文化財発掘調査

平成25年度に盛岡市遺跡の学び館が実施した試掘調査は9件、学術調査を含む本調査が13件の計22件である。内訳は史跡の現状変更・修復工事及び保存整備等に伴う確認調査が4件、消防署庁舎建設に伴う公共事業の本調査が1件、大規模区画整理事業関連の本調査が1件、民間開発関連では保育施設建築に伴う試掘調査1件、携帯電話基地局建設に伴う試掘調査1件、宅地造成が2件、店舗及び共同住宅建築が4件、個人住宅建築等に伴う調査が8件で、調査総面積は12,562m²となっている。面積的には透明地区区画整理事業関連の細谷地遺跡の調査が6,407m²と最も多く、全体の51%を占める。また地域的には盛南開発・民間事業を含めても太田・向中野・飯岡の北上川西岸地区が11地点で、他に旧市街地区1地点、中津川地区1地点、築川地区2地点、厨川地区4地点、乙部地区2地点、玉山地区1地点となっている。本報告では遺構・遺物が検出された発掘調査（本調査・試掘調査）を主体に記述し、その他については一覧表での記載のみに留めた。



第2図 平成25年度調査遺跡位置図 (S=1:200,000)

【平成25年度埋蔵文化財発掘調査(本調査・試掘調査)一覧】

区分	遺跡名	次数	所在地	調査事由	調査期間	発掘面積 (㎡)	遺構・出土遺物	
宇都宮県 調査	1	4	内丸	石原形跡修復工事に係る事前調査	10/30~12/20	50	三ノ丸北面で宝永2年の石垣の敷込石と礎土層、築城期の石垣に伴う盛土層を確認	
	2	108	中太田方八丁282地内	保存些微に係る内容確認調査	10/15~11/15	145	SF170外郭内庭築地基礎、SD170築地外溝跡、SD070外大溝跡 遺物：平安時代の須恵器磁須部破片	
	3	109	中太田方八丁701地内	用水路改修工事による土壌に伴う確認調査	1/14	7	SD010外郭南沼外大溝跡 遺物なし	
	4	110	中太田吉原733地内	史跡現状変更申請に係る事前発掘調査	3/11	120	遺構・遺物なし	
本 県 内 試 掘 調 査	5	新築屋遺跡	5	山岸6丁目289-2	消防署庁舎建設	9/17~12/10	481	縄文時代の埋土層後半~前期前半の遺物包含層 平安時代の竪穴建物跡(住居)7棟、竪穴状遺構7基、土坑12基、溝跡2条及び古代の遺物包含層 遺物：平安時代の土器(土師器・須恵器・あかやき土器) 平安時代の竪穴建物跡(住居)2棟、竪穴状遺構3基、竪立柱建物跡1棟、土坑3基、溝跡1条、時期不詳の土坑2基、ピット501 遺物：平安時代の土器(土師器・須恵器・あかやき土器)、石製品(砥石)
	6	細谷地遺跡	33	向中野字細谷第7-215か	上地区前面整理	5/14~12/28	6,407	平安時代の竪穴建物跡(住居)2棟、竪穴状遺構3基、竪立柱建物跡1棟、土坑3基、溝跡1条、時期不詳の土坑2基、ピット501 遺物：平安時代の土器(土師器・須恵器・あかやき土器)、石製品(砥石)
	7	台太郎遺跡	77	向中野2丁目7-2	店舗建築	5/1~6/4	516	奈良・平安時代の竪穴建物跡(住居)31棟、平安時代の竪立柱建物跡1棟、古代~古代以降の土坑27基、古代以降の溝跡7条、ピット1181 遺物：古代の土器(土師器・須恵器)
	8	台太郎遺跡	80	向中野2丁目6-2	宅地造成	7/22~12/2	1,155	奈良・平安時代の竪穴建物跡(住居)31棟、平安時代の竪立柱建物跡1棟、古代~古代以降の土坑27基、古代以降の溝跡7条、ピット1181 遺物：古代の土器(土師器・須恵器)
	9	町田遺跡	19	乙部30番地51-1	個人住宅建築	4/9~4/24	66	平安時代の竪穴建物跡(住居)2棟、竪穴状遺構1基及び古代の遺物包含層 遺物：平安時代の土器(土師器・須恵器・あかやき土器)の破片、鉄製品(鉄鏝・刀子)、土製品(土師)
	10	台太郎遺跡	78	向中野2丁目3-11	個人住宅建築	6/12~6/21 7/4~7/24	55	平安時代の遺構1基、古代の土坑1基、溝跡1条 遺物：古代の土器(土師器・須恵器・あかやき土器)の破片(※盛土保存措置)
	11	台太郎遺跡	79	向中野2丁目3-3	個人住宅建築	6/12~6/21 7/4~7/24	67	奈良時代の竪穴建物跡(住居)1棟、古代の土坑1基、時期不詳のピット6口 遺物：古代の土器(土師器)
	12	星熊遺跡 (試掘~ 本調査)	(57) 58	北天竺寺町10-112-L16- 216-X11-1の一部	宅地造成及び共 同住宅建築	10/15~12/26	2,209	縄文時代の竪穴遺構1基、平安時代末期~ 鎌倉時代初期の竪立柱建物跡10棟、柱列跡18列、 溝跡1列、竪穴建物跡1棟、土坑1基、溝跡6 条、江戸時代の土坑1基、溝跡2条 遺物：縄 文時代の土器破片、石器1点、平安時代末期~ 鎌倉時代初期のかわらけ破片、押出破片など 中貝の須藤1条、溝跡1条、竪穴建物跡5棟、 土坑7基、柱穴28口(※盛土保存措置)
	13	星熊遺跡 (試掘調査)	59	天呂寺町249-2	店舗併用住宅建 築	10/9	91	平安時代の竪立柱建物跡2棟、土坑10基、溝跡 3条、土器類遺構1基、古代以降の竪立柱建 物跡1棟、時期不詳の土坑1基、ピット251 遺 物：平安時代の土器(土師器・須恵器・あか やき土器)の破片(※盛土保存措置)
	14	大宮北遺跡	17	大宮字小榎4-1の一部	個人住宅建築は か	6/24~7/3	119	平安時代の竪穴建物跡1基、平安時代末期~ 鎌倉時代初期のかわらけ破片、押出破片など 中貝の須藤1条、溝跡1条、竪穴建物跡5棟、 土坑7基、柱穴28口(※盛土保存措置)
	15	西渡流遺跡	28	三本嶺第2地割42-112 か	宅地造成	5/9	165	遺構・遺物なし
16	小原塚遺跡 (試掘調査)	40	大新町20-45外	共同住宅建築	5/13	170	縄文時代の竪穴状土坑2基 遺物：縄文時代 の土器片(※盛土保存措置)	
17	幅下1遺跡 (試掘調査)	1	玉山区立林字平森54番 78	帯巻磁器品地局 建築	6/10	43	遺構・遺物なし	
18	小山遺跡 (試掘調査)	36	東中野町26-4	個人住宅建築	6/28	27	遺構・遺物なし	
19	門遺跡 (試掘調査)	1	西字真立116-1,117-1, 122,123,124,125,126, 127,129,130,131	保育施設の新築	7/19~7/20	532	遺構・遺物なし	
20	乙部方八丁 遺跡 (試掘調査)	12	乙部地割第22-4,同22-5 の各一部	個人住宅建築	9/18	71	平安時代の竪穴建物跡(住居)1棟、土坑4基 遺物：平安時代の土器(土師器・須恵器)の破 片	
21	見家館遺跡 (試掘調査)	5	西見前幸8地割13-3, 15-1,第20地割176-2	個人住宅建築	9/30	20	遺構・遺物なし	
22	宿田南遺跡 (試掘調査)	11	北夕瀬町26-21	個人住宅建築	3/18	46	古代~中世の竪穴建物跡1棟、柱穴4口、溝跡 2条、土坑1基、盛土層1カ所	

12,562

○学術調査

(1) 国指定史跡盛岡城跡第32次調査

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1 調査地 盛岡市内丸地内 | 2 調査事山 三ノ丸北・西石垣解体修理に伴う事前調査 |
| 3 方法 トレンチによる試掘調査 | 4 調査期間 平成25年10月30日～12月20日 |
| 5 調査面積 50㎡ | 6 調査員 佐々木亮二(事務局歴史文化課) |
- 7 調査区と確認された遺構 A区:三ノ丸西石垣上面⇒石垣天端石、粟石、盛土(盛岡城1期あるいは不來方城期及び盛岡城2期)、B区:三ノ丸北石垣上面⇒石垣天端石、粟石、盛土(盛岡城2期及び盛岡城4期)、C区:三ノ丸北石垣下面⇒石垣根石、根石握方プラン(盛岡城2期か)、D区:三ノ丸北西下斜面⇒盛土(落政期～昭和期)

8 出土遺物 近世以降の棧瓦・陶磁器ほか

9 調査概要 史跡盛岡城跡は、市街地中心部、内丸に存在する江戸時代の盛岡藩主南部氏の居城跡で、慶長3年(1598)、豊臣秀吉の許可を得たのち、15世紀以来の中世の不來方城を廃し、新たな縄張りで築城したもので、本丸、二ノ丸、三ノ丸、腰曲輪など、主要な曲輪は本格的な石垣造りで、明治7年(1874)に廃城となるまで、盛岡藩20万石の中枢を担った。廃城後は殆どの建物が取り壊され、しばらくの間は荒廃したが、明治39年(1906)に近代的な公園「岩手公園」として生まれ変わり、昭和12年(1937)に城中心部が国の史跡に指定された。しかし、築城から400年経過した石垣は、戦後、崩落事故もあるなど、城内各所ではらみや陥没が見受けられ、昭和57年(1982)、文化庁の現地調査が行われ、腰曲輪、本丸東側や二ノ丸東側などの一部分に崩壊の危険性があることから、昭和59年度(1984)から石垣解体修理工事が開始された。

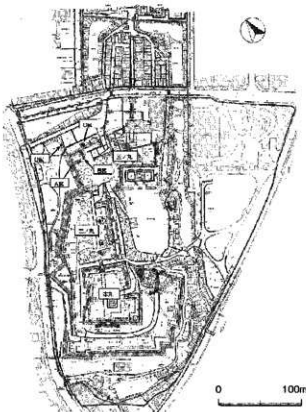
第32次調査は、石垣変位調査で数値が大きいとされる三ノ丸北部、西部で解体工事に先行して発掘調査が実施され、宝永2年(1705)の銘文が刻まれた石垣の上面で裏込石と盛土層及び築城期の石垣に伴う盛土層、石垣下面では根石の深さや根固めの状態などを確認した。



盛岡城跡第32次調査区位置図



D区盛土断面(北から)



史跡盛岡城跡 第32次調査区位置図

(2) 国指定史跡志波城跡第108次調査

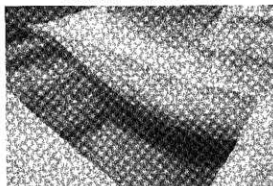
- | | | | |
|-----------|---|--------|--------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市中太田方八丁28-2地内 | 2 調査事由 | 史跡整備に係る内容確認調査 |
| 3 調査方法 | 部分試掘調査 | 4 調査期間 | 平成25年10月15日～11月18日 |
| 5 調査面積 | 145㎡ (A区80㎡、B区65㎡) | 6 調査員 | 津嶋知弘 |
| 7 確認された遺構 | A区(外郭西辺築地調査区): SF170築地線(基壇)、SD170築地外溝跡
B区(外郭西辺外大溝調査区): SD070外大溝跡 | | |
| 8 出土遺物 | 表土より平安時代の須恵器壺頸部破片ほか | | |

9 調査概要 遺跡は市街地の西南部、平石川により形成された低位沖積段丘に立地。昭和51年度以降の緊急調査や学術調査により、古代城郭としての基本的構造が明らかとなり、その重要性から昭和59年に国史跡に指定された。今年度の第108次調査区は、志波城外郭西辺のほぼ中央部にあたり、外郭築地線市西角より北に約240mの地点、政庁西門の位置から西方に延長した外郭西門推定位置より南に約80mの地点に位置し、このことから今次調査は外郭西辺築地線、築地外溝、槽、外大溝及びそれらの位置関係、埋土の堆積状況等の確認を行うことを目的として実施された。

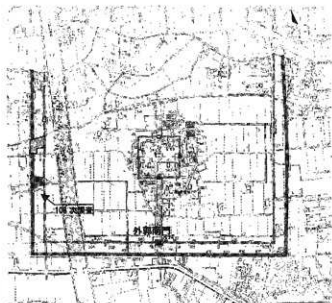
その結果、東側のA区では、170外郭西辺築地線の基礎版築の積土及び建設時の足場穴を検出。塀本体の積土の基底部は東側に隣接する現道内に位置し、170築地線推定中心線と070外大溝跡中心線の距離は40.5m(135尺)と推定された。また、トレンチでの遺構精査の結果、SD170-A層及びSD070-A～C層が、大規模洪水による厚い水成堆積層であることを確認し、さらに下層のSD170-C層及びSD070-F層には、灰白色粉状パミスの十和田a火山灰(915年降下)が多く混在しているのが確認された。同様の水成堆積や火山灰は前年度の第107次調査でも確認され、これらは西暦1,000年前後の大洪水(志波城北辺を削り取った水害と考えられる)と、915年の十和田湖火山の大噴火という、当地を襲った大災害の痕跡と言える。



志波城跡第108次調査区位置図



第108次調査区 外郭西辺築地外溝跡



志波城跡全体図

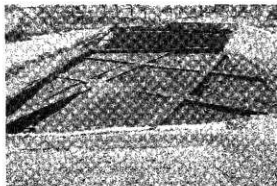
○公共事業関連

(1) 新茶屋遺跡第5次調査

- | | | | |
|--------|------------------|--------|-------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市山岸6丁目H269-2ほか | 2 調査事由 | 消防署出張所庁舎建設 |
| 3 調査方法 | 調査対象地の全面調査 | 4 調査期間 | 平成25年9月17日～12月10日 |
| 5 調査面積 | 481㎡ | 6 調査員 | 菊地幸裕 |
| 7 検出遺構 | 縄文時代前期の焼土遺構1基 | 8 出土遺物 | 縄文時代早期～前期の土器・石器 |
- 9 調査概要 遺跡は市街地北部の四十四出丘陵南東緩斜面に形成された小規模扇状地に立地し、平成23年度に試掘調査を実施。縄文時代早期～前期の遺物包含層を確認し、今次調査はその本調査として実施された。焼土遺構は直径約40cmの不整形形で、熱浸透層は最大厚約10cmのもので、調査区全域が遺物包含層を形成し、表土（I層）下、II～IV層からなり、層厚は40～80cmを測る。遺物包含層から出土した前期前半の羽状縄文系土器では、口縁部文様帯が短沈線と原体圧痕による蕨手状文で構成された土器群なども出土している。



新茶屋遺跡第5次調査区位置図



新茶屋遺跡第5次調査区全景

(2) 細谷地遺跡第33次調査（道明地区区画整理事業：平成16年度からの継続調査）

- | | | | |
|--------|--|--------|-------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市向中野字細谷地7-2ほか | 2 調査事由 | 大規模土地区画整理 |
| 3 調査方法 | 木調査 | 4 調査期間 | 平成25年5月14日～12月28日 |
| 5 調査面積 | 6,407㎡ | 6 調査員 | 菊地幸裕 |
| 7 検出遺構 | 奈良・平安時代の竪穴建物跡（住居）7棟、土坑12基、溝跡2条、竪穴状遺構6基 | | |
| 8 出土遺物 | 奈良・平安時代の土師器（坏・甕）、須恵器（坏）、あかやき土器（坏・甕）など | | |
- 9 調査概要 遺跡は北上川の西岸と支流の幸石川南岸に広がる沖積段丘上に立地し、縄文時代から奈良・平安時代、そして近世に至るまでの盛南地区では台太郎遺跡に次ぐ大規模複合集落跡である。今年度は昨年度調査区の南東部に隣接するI～IV区の4地点を調査し、やや散発的な配置で竪穴建物跡群や上坑・溝跡及び竪穴状遺構などを確認したが、集落範囲はさらに南方に拡大する可能性も考えられる。

遺構からは平安時代の上師器坏・甕・多嘴瓶や灯明皿、須恵器坏・甕などが出土した。



細谷地遺跡 第33次調査区位置図



細谷地遺跡 第33次調査区全景（南から）

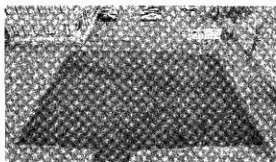
○民間開発関連

(1) 台太郎遺跡第77次調査

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 調査地 盛岡市向中野2丁目7-2 | 2 調査事由 店舗建築 |
| 3 調査方法 木調査 | 4 調査期間 平成25年5月1日～6月4日 |
| 5 調査面積 516㎡ | 6 調査員 花井正香、鈴木俊輝 |
- 7 検出遺構 平安時代の竪穴建物跡(住居)2棟、竪穴状遺構3基、掘立柱建物跡1棟、土坑3基、溝跡1条、時期不詳の土坑2基、ピット5口
- 8 出土遺物 平安時代の土器(土師器・須恵器・あかやき土器)、石製品(砥石)
- 9 調査概要 遺跡は市街地より南西2kmの向中野地内に所在。平石川南岸に広がる沖積段丘上に立地し、遺跡の範囲は東西800m、南北500mと広大で、平石川南岸～北上川西岸の沖積地で最大規模の集落跡となっている。近年の大規模区画整理事業により多くの緊急調査が実施され、7～10世紀の古代集落、中世の居館を中心とした集落跡・墓域及び近世の村落跡などが確認されており、特に奈良・平安時代の竪穴住居跡は700棟以上を数える。



台太郎遺跡第77次調査区位置図



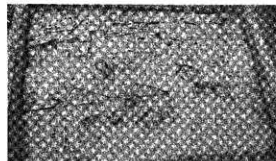
台太郎遺跡 第77次調査区全景(南から)

(2) 台太郎遺跡第80次調査

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1 調査地 盛岡市向中野2丁目6-2 | 2 調査事由 宅地造成 |
| 3 調査方法 木調査 | 4 調査期間 平成25年7月22日～12月2日 |
| 5 調査面積 1,155㎡ | 6 調査員 花井正香、鈴木俊輝 |
- 7 検出遺構 奈良・平安時代の竪穴建物跡(住居)31棟、平安時代の掘立柱建物跡1棟、古代～古代以降の土坑27基、古代以降の溝跡7条、ピット118口
- 8 出土遺物 奈良・平安時代の上御器(坏・甕)、須恵器(坏・甕・壺)、あかやき土器(坏・高台付坏・甕)、石製品(砥石)、鉄製品(刀の切先、刀子)、木製品(柱材)、近世～近代の陶磁器
- 9 調査概要 第77次調査区の北西部に所在し、北西～南東方向に延びる沖積段丘の縁部に近く、奈良～平安時代の竪穴建物跡が重複し密集した状態で検出されており、長期間にわたって集落が営まれていた様子が窺える。



台太郎遺跡第80次調査区位置図



台太郎遺跡 第80次調査区全景(南から)

(3) 里館遺跡第58 (57) 次調査

- 1 調査地 盛岡市北犬島寺町10-1、12-1、16-2、16-3、11-1の一部
- 2 調査事由 宅地造成及び共同住宅建築
- 3 調査期間 平成25年10月15日～12月26日
- 4 調査面積 2,209㎡
- 5 調査方法 試掘調査～本調査
- 6 調査員 室野秀文 鈴木俊輝
- 7 確認遺構 縄文時代の陥し穴状遺構1基、平安時代



里館遺跡58 (57)・59次調査区位置図

- 末期～鎌倉時代初期の掘立柱建物跡10棟、柱列跡18列、槽跡1列、竪穴建物跡1棟、土坑1基、溝跡6条、江戸時代の土坑1基、溝跡2条
- 8 出土遺物 縄文時代の土器、石器、平安時代末期～鎌倉時代初期のかわらけ、捏ね鉢など
 - 9 調査概要 盛岡市街地より北西約3kmの標高129～132mの住宅地に所在。東流する雫石川北岸の段丘上に位置し、段丘に沿った南北250～380m、東西650mが遺跡範囲と推定される。遺跡は古くから安倍館遺跡と併せ、「厨川櫓擬定地」とされてきたが、昭和50年代からの調査では両遺跡とも15・16世紀を主体とした城館跡で、里館遺跡については近世期まで下る屋敷跡としての性格も有ることが確認されている。

今次調査は、遺跡の北西端で実施され、中世の遺構と共に平安時代の竪穴建物跡、12～13世紀の掘立柱建物跡、槽跡、柱列跡、竪穴建物跡、土坑及び溝跡などが確認された。調査区中央部で検出された2条の溝跡の間には土塁も構築され、槽状の建物も存在するなど、遺構周辺から出土したかわらけや捏ね鉢の破片から期的には12～13世紀にかけての城館の外郭施設と推定され、これまで里館遺跡は安倍館遺跡（栗谷川城跡）とともに中世工藤氏の城館として認識されていたが、今回の調査結果により、平泉藤原氏時代の遺構の存在も明確となった。

(4) 里館遺跡第59次調査

- 1 調査地 盛岡市天昌寺町249番2
- 2 調査事由 店舗併設住宅建築
- 3 調査期間 平成25年10月9日
- 4 調査方法 トレンチによる試掘調査
- 5 調査面積 91㎡
- 6 調査員 室野 秀文
- 7 検出遺構 中世の堀跡1条、溝跡1条、竪穴建物跡5棟、柱穴28口、土坑7基
- 8 出土遺物 なし

- 9 調査概要 第59次調査区は、58次調査区の東側150mの段丘崖寄りの自然堤防上に位置し、過去の調査成果及び地形観察から確認できる、南北70m、東西50mの範囲で空堀により区画された小規模な曲輪内に位置する。試掘調査はトレンチを南北方向2本、東西方向2本を設定して実施され、竪穴建物跡を始め、多くの遺構が確認された（遺構・遺物は盛土保存措置）。



里館遺跡第58 (57) 次調査区全景 (南西から)



里館遺跡第59次試掘調査の状況

(5) 小屋塚遺跡第40次調査

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 調査地 盛岡市大新町20-45ほか | 2 調査事由 共同住宅建築 |
| 3 調査方法 試掘調査 | 4 調査期間 平成25年5月13日 |
| 5 調査面積 170㎡ | 6 調査員 菊地 幸裕 |
| 7 検出遺構 縄文時代の陥し穴状土坑2基 | 8 出土遺物 縄文時代の土器破片 |
- 9 調査概要 遺跡は市街地の北西部、雫石川北岸の火山灰砂台地の縁辺部に立地し、現地形では南辺に比高2mの段丘崖を残り、さらに後背湿地を介して12~16世紀の里館遺跡が築かれる南側の自然堤防へと続く。台地上には西から大館堤・大館町・大新町・小屋塚、そして前九年遺跡と多くの縄文時代の遺跡が存在し、過去の調査で小屋塚遺跡の台地縁辺部からは密集した状態で大形のフラスコ形土坑群が確認されている。

今次調査は、段丘崖から130m北側の地点に入り込み、調査区に東西2本のトレンチを設定し試掘調査を実施。地表面から約80cm下部の黄褐色土層内で縄文時代と考えられる陥し穴状土坑を検出し、南側には縄文時代中期~後期の遺物包含層が広がっていることが確認された。



小屋塚遺跡第40次調査区位置図



小屋塚遺跡 第40次試掘調査の状況

○個人住宅建築等

(1) 町田遺跡第19次調査

- | | |
|--|------------------------|
| 1 調査地 盛岡市乙部第30地割51-1 | 2 調査事由 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 試掘調査 | 4 調査期間 平成25年4月9日~4月24日 |
| 5 調査面積 66㎡ | 6 調査員 花井 正香 鈴木 俊輝 |
| 7 検出遺構 平安時代の竪穴建物跡（住居）2棟、竪穴状遺構1棟、古代の遺物包含層 | |
| 8 出土遺物 平安時代の土器（土師器・須恵器・あかやき土器）破片 | |
| 9 調査概要 遺跡は市街地より南東方向11km、南流する北上川左岸の標高113~115m程の河岸段丘上に立地し、調査区は遺跡範囲のほぼ中央部に位置する。昨年度、試掘調査が実施され、遺構・遺物の存在が確認されたことにより、本調査を実施したものである。検出された平安時代の竪穴建物跡は、一辺が3.0mほどで、壘形の埋土に十和田湖を噴出起源とする灰白色火山灰（西暦915年降灰）を含み、出土遺物では土師器・須恵器のほか鉄製品や鉄滓のほか、精錬や小鍛冶を窺わせる被熱で赤色変化した火床面なども確認されている。 | |



町田遺跡第19次調査区位置図



試掘調査の状況

(2) 台太郎遺跡第78次調査

- 1 調査地 盛岡市向中野2丁目3-11
- 2 調査事由 個人住宅建築
- 3 調査方法 本調査
- 4 調査期間 平成25年6月12日～6月21日、
7月4日～7月24日
- 5 調査面積 55㎡
- 6 調査員 花井 正香
- 7 確認遺構 平安時代の堀跡1条、古代の土坑1基、
溝跡1条
- 8 出土遺物 古代の上器（土師器・須恵器・あかやき
土器）破片



台太郎遺跡第78・79次調査区位置図

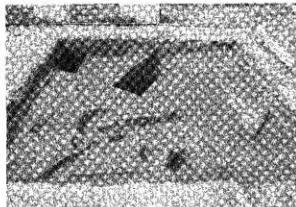
9 調査概要 遺跡は市街地より南西2kmの向中野地内に所在。平石川南岸に広がる沖積段丘上に立地し、第77次調査区から北北東200mに位置する。今次調査区は第3・4次調査で検出された平安時代の堀跡に隣接することから、同様の遺構の確認が予想された。

調査の結果、堀跡の規模は、調査区内での最大延長7.5m、上幅3.8～4.0m、底面幅1.0～1.2m、検出向から底面までの深さ1.5～1.6mを測り、下層の埴土からは廃棄された土師器の埴土が潰れた状態で出土している。平安時代の堀跡は第3・14次調査でも検出されており、段丘崖に沿って確認された総延長は約50mを測り、幅・深さ共に古代の区画線としては大規模といえる。

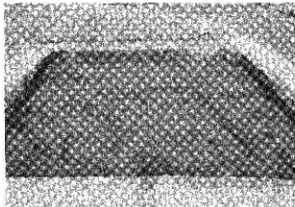
(3) 台太郎遺跡第79次調査

- 1 調査地 盛岡市向中野2丁目3-2
- 2 調査事由 個人住宅建築
- 3 調査方法 本調査
- 4 調査期間 平成25年6月12日～6月21日、7月4日～7月24日
- 5 調査面積 67㎡
- 6 調査員 花井 正香
- 7 検出遺構 奈良時代の竪穴建物跡1棟、古代の土坑1基、時期不詳のピット6口
- 8 出土遺物 奈良時代の土器（土師器甕等）

9 調査概要 第78次調査区の南側で、北西-南東方向に走る平安時代の堀跡の内側に位置する。既存建物の基礎や埋設管等による攪乱が著しく、遺構の残存状況は良くないが、奈良時代の竪穴建物跡等が確認された。検出された竪穴建物跡は約3.5m×4.3mの方形で、4本の主柱穴をもち、カマドは北西方向に位置し、その方向性は台太郎遺跡で確認された多くの奈良時代の住居と共通する。住居内の北東部からは体部下半を打ち欠いた2個体土師器甕が埋設された状態で検出されている。



台太郎遺跡第78次調査区全景



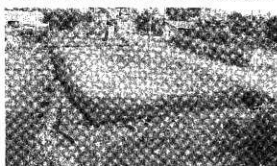
台太郎遺跡第79次調査区全景

(4) おのみやま 大宮北遺跡第17次調査

- 1 調査地 盛岡市本宮字小幡4-1の一部
- 2 調査事由 個人住宅建築及び辨壁工事
- 3 調査方法 住宅部分の試掘及び辨壁工事部分の全面調査
- 4 調査期間 平成25年6月24日～7月3日
- 5 調査面積 119㎡
- 6 調査員 花井 正香
- 7 検出遺構 平安時代の掘立柱建物跡2棟、土坑10基、溝跡3条、土器廃棄遺構1基、古代以降の掘立柱建物跡1棟、時期不詳の土坑1基、ビット25口
- 8 出土遺物 平安時代の土器（土師器・須恵器・あかやき土器）
- 9 調査概要 遺跡は市街地の南西部、半石川右岸の標高126m程の低位沖積段丘上に立地する。本遺跡の周辺には、古代から中世にかけての遺跡が多く分布し、北東に小幡遺跡、宮沢遺跡、東に鬼柳A遺跡、南に大宮遺跡、北西に林崎遺跡及び西方約300mには国指定史跡志波城跡が位置し、各遺跡は旧河道によって画されている。今次調査は遺跡の中央北部で実施され、平安時代（10世紀）の大型の掘立柱建物跡を検出。トレンチ調査のため、全貌は不明だが、西側梁行2間（総長5.0m）で、北面に幅1.2mの庇が付く東西棟と考えられる。また検出された溝跡の埋土層からは十和田湖を噴出起源とする灰白色火山灰（西暦915年降灰）も確認されている。土器廃棄遺構からはあかやき土器の坏及び高台付坏の破片が大量に出土しており、一般的な集落からの出土状況と異なり、祭祀的要素が強い。



大宮北遺跡第17次調査区位置図



大宮北遺跡第17次試掘調査の状況

(5) おのへ 乙部方八丁遺跡第12次調査（試掘調査）

- 1 調査地 盛岡市乙部第32地割22-4、22-5の一部
- 2 調査事由 個人住宅建築
- 3 調査方法 トレンチによる試掘調査
- 4 調査期間 平成25年9月18日
- 5 調査面積 71㎡
- 6 調査員 室野 秀文
- 7 確認された遺構 平安時代の堅穴建物跡1棟、土坑4基
- 8 出土遺物 平安時代の土師器・須恵器
- 9 調査概要 遺跡は北上川左岸に形成された砂礫段丘上に立地し、段丘を開析する北の乙部川側から、町田遺跡、乙部野遺跡、松長根遺跡、乙部方八丁遺跡が位置する。今次調査区は遺跡南端の新田川側の段丘上で実施し、建築予定地に3本のトレンチを設定して試掘調査を行い、平安時代の堅穴建物跡、土坑及び同時期の遺物を検出確認した（一部工法変更を含め、盛土保護措置とした）。



乙部方八丁遺跡第12次調査区位置図



乙部方八丁遺跡第12次試掘調査の状況

(6) 宿田南遺跡第11次調査 (試掘調査)

- | | | | |
|--------|-------------------------------------|--------|-------------|
| 1 調査地 | 盛岡市北夕顔瀬町26-21 | 2 調査事由 | 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査 | 4 調査期間 | 平成26年3月18日 |
| 5 調査面積 | 46㎡ | 6 調査員 | 室野 秀文 鈴木 俊輝 |
| 7 検出遺構 | 古代～中世の竪穴建物跡1棟、柱穴4口、溝跡2条、上坑1基、盛土層1カ所 | | |
| 8 出土遺物 | なし | | |

9 調査概要 遺跡は市街地より北西方向約3kmの零石川河道に面する標高132mの南北200m、東西100mの段丘上に位置する。現況は宅地で周辺部よりも一段高い残丘状を呈しているが、本来は北側の火山灰砂台地(滝沢台地)の舌状台地の延長であったものが、河道により浸食寸断され独立したものと考えられ、周辺との比高差は2～5mを測る。火山灰砂台地の滝沢台地南縁部には数多くの遺跡が存在し、西から大館堤遺跡(縄文時代早期～中期)、大館町遺跡(縄文時代中期、古代)、大新町遺跡(縄文時代草創期～早期、古代)、小屋塚遺跡(縄文時代中・後期、古代)、前九年I遺跡(縄文時代早期～中期、古代)、館坂遺跡(縄文時代草創期～早期)、安倍館遺跡(縄文時代全般、続縄文・中世)など、また一段低い沖積段丘～自然堤防上には、稲荷町遺跡(古代末～中世・近世)、里館遺跡(古代末～中世・近世)などが立地し、幅広い時代の集落跡・城館跡(厩敷跡)の存在が確認されている。

宿田南遺跡の発掘調査は昭和61年度(1986)の第1次調査以降、第10次調査まで実施されており、平成18年度(2006)に実施された丘陵南端部の第9次調査では、県内初の多字・石経と梵字を書写した経石を埋納した経塚が発見された。礫石総数38,000点中、判読及び墨痕が認められる経石は186点確認され、それに記された經典は「妙法蓮華経」、「金剛経」、「梵字(種子)」、「梵字(金剛界五仏)」など多岐にわたり、經典内容から天台宗との関連が推定され、中でも大日如来供養を主とした願意で造営され、金剛経を用いていることや書風から造営年代は鎌倉時代中期以降と推定された。

今次調査区は、遺跡の北東部で第1次調査区(昭和61年度実施)に隣接する地点でトレンチによる試掘調査を行い、室町～戦国時代にかけての竪穴建物跡及び孤立柱建物跡を構成する柱穴などが検出された。過去の調査成果を見ても丘陵全体が城館ないし屋敷として使われていた可能性が考えられ、鎌倉期の経塚の存在や江戸期以前までは河道に面し周辺を見渡せる経塚を造営するに恰好の見晴台的な丘陵地であったと考えられる(平成26年度本調査予定)。



宿田南遺跡第11次調査区位置図



宿田南遺跡第11次試掘調査の状況

報告書抄録

ふりがな		ふりがな		北緯		東経		調査期間		調査面積		調査原因			
所収遺跡名		所在地		市町村		道庁管轄		(農林業用地系)							
ふりがな	もりおかしいせきのまなびかん	ふりがな	へいせい25ねんど	ふりがな	かんばう										
ふりがな	盛岡市遺跡の学び館	ふりがな	平成25年度	ふりがな	館報										
編者名	千田和文 菊地平路 尾野秀文 沖嶋弘弘 神原崇 飯 花井正香 矢々木亮二 佐々木紀子 山岸佳洋 木嶋聖美 山野友海 鈴木俊輝														
編集機関	盛岡市遺跡の学び館														
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番1号														
発行年月日	2015年3月31日														
ふりがな	盛岡城跡 (32次)	ふりがな	岩手県盛岡市 内丸	ふりがな	03201	ふりがな	39° 41' 55"	ふりがな	141° 09' 15"	ふりがな	2013.10.30~12.20	ふりがな	50	ふりがな	石垣修繕復旧工事 に係る事前調査
ふりがな	志波城跡 (108次)	ふりがな	岩手県盛岡市 内丸 山崎2丁目28-2	ふりがな	03201	ふりがな	39° 41' 18"	ふりがな	141° 06' 44"	ふりがな	2013.10.15~11.15	ふりがな	145	ふりがな	史跡保存整備に係 る内容確認調査
ふりがな	新茶屋遺跡 (5次)	ふりがな	岩手県盛岡市 山崎6丁目269-2	ふりがな	03201	ふりがな	39° 43' 30"	ふりがな	141° 10' 33"	ふりがな	2013.9.17~12.10	ふりがな	481	ふりがな	消防庁庁舎建設
ふりがな	細谷地遺跡 (33次)	ふりがな	岩手県盛岡市 向中野字細谷地7-2ほか	ふりがな	03201	ふりがな	39° 40' 53"	ふりがな	141° 08' 18"	ふりがな	2013.5.14~12.28	ふりがな	6,407	ふりがな	公共大規模区画整 理
ふりがな	町田遺跡 (19次)	ふりがな	岩手県盛岡市 乙部第30地割51-1	ふりがな	03201	ふりがな	39° 36' 52"	ふりがな	141° 11' 59"	ふりがな	2013.4.9~4.24	ふりがな	66	ふりがな	個人住宅建築
ふりがな	里館遺跡 (57・58・59次)	ふりがな	岩手県盛岡市 (5758次) 北天昌寺町10-1, 12-1,16-2,16-211ほか (59次) 大呂寺町249-2	ふりがな	03201	ふりがな	39° 42' 34"	ふりがな	141° 07' 23"	ふりがな	(5758次) 2013.10.15~12.26 (59次) 2013.10.9	ふりがな	(5758次) 2,209 91	ふりがな	(5758次) 宅地造成及び共同 住宅建築 (59次) 店舗併用住宅建築
ふりがな	白太郎遺跡 (77・78・79・80次)	ふりがな	岩手県盛岡市 (77次) 向中野2丁目7-2 (78次) 向中野2丁目3-11 (79次) 向中野2丁目3-3 (80次) 向中野2丁目6-2	ふりがな	03201	ふりがな	39° 42' 26"	ふりがな	141° 06' 49"	ふりがな	(77次) 2013.5.1~6.4 (78次)(79次) 2013.6.12~6.21, (79次) 2013.7.4~7.24 (80次) 2013.7.22~12.2	ふりがな	(77次) 516 (78次) 55 (79次) 67 (80次) 1,155	ふりがな	(77次) 店舗建築 (78次)(79次) 個人住宅建築 (80次) 宅地造成
ふりがな	大宮北遺跡 (40次)	ふりがな	岩手県盛岡市 本宮字小塚1-1ほか	ふりがな	03201	ふりがな	39° 41' 09"	ふりがな	141° 07' 02"	ふりがな	2013.6.21~7.3	ふりがな	119	ふりがな	個人住宅建築ほか
ふりがな	小塚塚遺跡 (40次)	ふりがな	岩手県盛岡市 大新町20-45ほか	ふりがな	03201	ふりがな	39° 42' 40"	ふりがな	141° 06' 40"	ふりがな	2013.5.13	ふりがな	170	ふりがな	共同住宅建築
ふりがな	乙部方八丁遺跡 (12次)	ふりがな	岩手県盛岡市 乙部2地割2422-5の一部	ふりがな	03201	ふりがな	39° 36' 02"	ふりがな	141° 12' 14"	ふりがな	2013.9.18	ふりがな	71	ふりがな	個人住宅建築
ふりがな	福田南遺跡 (11次)	ふりがな	岩手県盛岡市 北夕飯町町26-21	ふりがな	03201	ふりがな	39° 42' 38"	ふりがな	141° 07' 02"	ふりがな	2014.3.18	ふりがな	46	ふりがな	個人住宅建築
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項								
盛岡城跡 (32次)	近世城郭跡	江戸時代	二ノ丸北面で宝永2年の石垣の基込石と盛土層、築城期の石垣に伴う盛土層を確認				学術調査								
志波城跡 (108次)	城郭跡	平安時代	SF170外郭西辺築地基礎、SD 170築地外溝跡、SD070外大溝跡		平安時代の須恵器		学術調査								
新茶屋遺跡 (5次)	集落跡	縄文時代	縄文時代早期後半~前期前葉の遺物包含層		縄文時代早期後半~前期前葉の土器・石器		継続調査								
細谷地遺跡 (33次)	集落跡	平安時代	平安時代の竪穴建物跡、竪穴状遺構、土坑、溝跡、古代の遺物包含層		平安時代の土器 (土師器・須恵器・あかやき土器)		継続調査								
町田遺跡 (19次)	集落跡	平安時代	平安時代の竪穴建物跡、竪穴状遺構及び古代の遺物包含層		平安時代の土師 (土師器・須恵器・あかやき土器)、鉄製品、土製品		継続調査								
里館遺跡 (5758次)	館跡・集落跡	縄文時代、平安時代・中世・江戸時代	縄文時代の竪穴状遺構、平安時代末期~鎌倉時代初期の獨立柱建物跡、柱列跡、溝跡、竪穴建物跡、土坑、溝跡、江戸時代の土坑、溝跡		縄文時代の石器、平安時代末期~鎌倉時代初期のかわらけ破片、捏ね鉢破片など		(5759次) 試掘調査 (58次) 本調査								
白太郎遺跡 (77次)	集落跡・館跡	奈良時代平安時代	奈良時代の竪穴建物跡、平安時代の竪穴建物跡、竪穴状遺構、獨立柱建物跡、土坑、溝跡、竪穴、時期不詳の土坑、ピット		平安時代の土器 (土師器・須恵器・あかやき土器)、石製品 (磁石)		本調査 (出土品保存措置)								
向中野2丁目3-3遺跡 (79次)	集落跡	平安時代	平安時代の獨立柱建物跡、土坑、溝跡、土器陶器遺構、ピット以降の竪穴柱建物跡、時期不詳の土坑、ピット		平安時代の土器 (土師器・須恵器・あかやき土器)の破片		本調査 (出土品保存措置)								
白太郎遺跡 (80次)	集落跡	縄文時代	縄文時代の竪穴状土坑		縄文時代の土器		試掘調査								
大宮北遺跡 (40次)	集落跡	平安時代	平安時代の竪穴建物跡		平安時代の須恵器・土師器		試掘調査								
乙部方八丁遺跡 (12次)	集落跡	古代~中世	古代~中世の竪穴建物跡、柱穴、溝跡、土坑、盛土層		出土遺物なし		試掘調査								

盛岡市遺跡の学び館 平成25年度 館報

盛岡市 遺跡の学び館

平成27年(2015)3月31日 発行

発行/盛岡市遺跡の学び館

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番1号 電話 019-635-6600 FAX 019-635-6605

E-mail iseki@city.moriokaiwate.jp

URL http://www.city.moriokaiwate.jp/moriokaguido/rekishi/manabikan/index.html

印刷/河北印刷株式会社

